

高柳中だより

第8号 柏市立高柳中学校
令和6年11月29日
校長 植松 一 裕

学校経営スローガン
「あたたかい言葉・行動・取組を実践する高柳中」
～あったかやなぎな学校を目指して～

【12月の高柳中】 『学校だより』では個人情報保護のため生徒の個人名は載せません

5日、6日には1、2年生の第3回定期テストを行い、その後は冬休みまで残り約2週間となります。前期後期制のため冬休み前の通知票はありませんが、生徒のみなには学習面も生活面も令和6年の振り返りをしてほしいです。12月中には学年や学級でも「まとめ」の時間を持つと思いますが、個人としても今年はどうだったのか、来年はどうしたいのかを考える時を持ってください。年明け3ヶ月後にはそれぞれ次のステージに進みます。(上級学校、最上級生、先輩)

高柳中学校は3年間ワンサイクルで「食育」「人権」「薬物」の学習を行っています。今年は「薬物乱用防止」の学習を12月6日に行います。最近は闇バイト関連のニュースをよく目にしますし、その気はなくてもいつの間にか取り返しのつかない世界に引き込まれ、一度足を踏み入れると元の生活を取り戻すのが難しくなることがたくさんあります。そのような類の話になります。当日は日頃から若い世代が陥りがちな様々な問題に対処し、市内多くの学校で講演活動を行っている専門指導主事の先生に来校いただく予定です。

進路に関する情報です。私立高校の入試はだいたい1月に行われますが、いくつかの私立高校は12月中旬に中学校教員と入試相談(事前相談)を行います。これは入試本番のテスト結果だけでなく、中学校在学中の様子(学習成績、特別活動、出欠状況等)も可否に加味するというものです。テストは出された問題との相性で普段通り得点できない場合がありますが、入試相談でOKがもらえた受験生は多少の考慮をしてくれます。そうは言っても、通知票評定4、5の受験生が2～30点というわけにはいきません。私立高校は学校によって出題傾向が異なる場合が多いです。併願推薦で私立を受験する人はその学校の過去問もよく研究しておいてください。1、2年生には「1年後、2年後の話ですよ」、3年生には「入試相談でOKが出てもしっかり準備してくださいね」、という意味のお知らせでした。

12月の行事予定

1日(日)	高柳ふれあいの集い(本校会場)
3日(火)	松戸六実高校教諭異校種交流受け入れ
4日(水)	性教育(2学年)
5日(木)	第3回定期テスト(1、2年) ～6日
6日(金)	薬物乱用防止教室
7日(土)	振興会本部役員会
13日(金)	性教育(1学年) いじめアンケート
16日(月)	学割申し込み締め切り
20日(金)	給食終了
24日(土)	振興会夜間パトロール
23日(月)	全校集会
24日(火)	冬季休業 ～1月6日まで



【チューリップ球根植え】

今年も本校保護者OBの方々が正門から昇降口にかけての花壇にチューリップの球根を植えてくださいました。お話を伺うと、始まりは20年以上前のことだそうです。かつてこの高柳中学校も荒れていた時代があり学校敷地内にもゴミが散乱していた様子を見て、「子ども(中学生)たちに少しでもよい環境で学校生活を送らせてあげたい」、「綺麗な花が咲いていればゴミは捨てないだろう」との思いで始めた取り組みだそうです。今の「あったかやなぎ」につながる取組の一つだと感じました。チューリップはちょうど入学式の頃見頃になるそうです。春が楽しみです。

【校内授業研修会】

11月27日に講師をお招きして、7つの教科で先生たちの授業研修を行いました。クロームブックを授業で活用することが当たり前になり、先日新しく入った電子黒板はさらに活用の幅が広がるようです。高柳中の先生たちは、これからも生徒を引き付けるわかりやすい授業づくりのために勉強を続けていきます。



【令和6年度 本校の全国学力・学習状況調査結果について】(3年生4月実施)

毎年、3年生を対象に国語・数学の問題、国語・数学への関心や生活学習に関する質問調査が行われています。今年度の調査結果をお知らせします。

- 国語では、言葉の特徴や使い方に関する知識や技能において優れていました。一方、思考力・判断力・表現力等における「書くこと」や「記述式」で答える問題に対しては正答率が低く、自分自身の考えを文章で表現する力が弱いことが課題であることがわかりました。
- 数学では、数と式、図形やデータの活用に関する領域が優れていました。一方、関数領域の問題への解答に課題が見られました。問題形式では、国語同様に短答式の設問には自信をもって答えています。文章で答えなければならない問題に対し課題が見られました。国語、数学に限らず記述力の強化が課題と言えます。
- 生活学習の調査項目では規範意識に関する回答が全国平均を上回りました。本校では昨年度から校則を改正し、髪型や服装、鞆類について生徒の自主的な判断に委ね考えさせました。生徒自ら時と場所と機会を考えて行動し、ノーチャイムで学校生活を過ごすことにより時間の管理も生徒自身が行っています。家庭で教わってきたことと小学校で学んだことが順調に現在の生活にも活かされています。一方、学習面に関しては、宿題以外の家庭学習など「自分が取り組むべき学習に対し主体的に取り組む姿勢」に課題が見られました。学ぶ意欲と学ぶ習慣について、大人(親と教員)と子ども(生徒)がともに意識していく必要があります。